

県立境港総合技術高等学校練習船用陸電設備改修工事

図面リスト		
図面番号	図面名称	縮 尺
E－01改	表紙 図面リスト	――
E－02	電気設備工事特記仕様書（1）	――
E－03	電気設備工事特記仕様書（2）	――
E－04	付近見取図 配置図	1／400
E－05	構内配電線路設備 平面図（撤去 改修後）	1／100
E－06	装柱図（撤去 改修後）	――
E－07改	屋外キュービクル 改造 単線結線図（改修後）	――
E－08改	屋外キュービクル 改造 単線結線図 姿図（改修前）	――

※LBS取替追加

※LBS取替追加



# 電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

## I. 工事概要

1 工事場所 境港市竹内団地

## 2 建物概要

番号	建 物 名 称	構 造	階 数	建築基準法による 延べ面積 (㎡)	消防法施行令第81条の区分	備 考
1	県立境港総合技術高等学校				( ) 項	若島丸陸電施設
2					( ) 項	
3					( ) 項	
4					( ) 項	
5					( ) 項	

### 3 工事種目 (◎印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番 号	1	2	3	4	5	屋外	備 考
● 電灯設備								
● 動力設備								
● 電熱設備								
● 雪保護設備								
◎ 受変電設備							○	
● 電力貯蔵設備								
● 発電設備								
● 構内情報通信網設備								
● 構内交換設備								
● 情報表示設備								
● 映像・音響設備	通							
● 拡声設備	信							
● 誘導支援設備	情							
● テレビ共同受信設備	報							
● 監視カメラ設備	設							
● 駐車場管制設備	備							
● 防犯・入退室管理設備								
● 火災報知設備								
● 中央監視制御設備								
● 医療関係設備								
◎ 構内配電線路							○	
● 構内通信線路								
● テレビ電波障害防除設備								
● 機械設備工事								
● 建築工事								

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

◎ の付いたものを適用する。

	項 目	特 記 事 項
電 灯 設 備	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気方式</li> <li>非常用照明器具</li> <li>誘導灯</li> </ul>	幹線 ● 単相3線式100/200V ● 直流2線式100V 分岐 ● 単相2線式 ( ● 100V ● 200V ) ● 直流2線式100V 光源 ● LED ● 蛍光灯 ● 白熱灯 ● 電圧 ● 電池内蔵形 ● 電源別置形 ● 避難口 ● 階段通路 ● 廊下通路 ● 室内通路
動 力 設 備	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気方式</li> </ul>	幹線 ● 三相3線式200V ● 単相2線式200V ● 単相3線式100/200V 分岐 ● 三相3線式200V ● 単相2線式 ( ● 100V ● 200V )
雷 保 護 設 備	<ul style="list-style-type: none"> <li>受雷部</li> <li>避雷導線</li> <li>接地極</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>突針 ● 棟上げ導体 ● その他金属体 ( )</li> <li>建築構造体利用 ● 引下げ導線</li> <li>建築構造体利用 ● 接地極埋設</li> </ul>
受 変 電 設 備	<ul style="list-style-type: none"> <li>Ⓐ 電気方式</li> <li>契約電力</li> <li>Ⓒ 設備方式</li> <li>Ⓓ 機器類</li> </ul>	高圧 三相3線式 6.6kV 低圧 ● 三相3線式200V ● 単相3線式100/200V ● 単相2線式 ( ● 100V ● 200V ) 改修工事 既存設備 ● kW 新築工事 ● 100kW未満 ● 100kW以上500kW未満 ● 500kW以上 ● 屋内形 Ⓒ 屋外形 Ⓓ キュービクル式配電盤 ( Ⓒ PF形 ● CB-1形 ● CB-2形 ) ● 高圧スイッチギア、変圧器盤 (CB-3形) 変圧器 三相 200 kVA、単相 kVA Ⓒ 油入 ● モールド 主遮断器 Ⓒ 限流ヒューズ ● VCB

	項 目	特 記 事 項
電力貯蔵設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 直流電源装置</li> <li>● 交流無停電電源装置（UPS）</li> </ul>	用途 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 非常用照明器具電源および受変電設備制御電源共用</li> <li>● 受変電設備制御電源専用</li> <li>● 非常用照明器具電源専用</li> </ul> 蓄電池 <ul style="list-style-type: none"> <li>● H S形鉛蓄電池</li> <li>● M S E形鉛蓄電池</li> <li>● （ A h ）</li> </ul> 形式 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 標柱によるUPS</li> <li>● 簡易形UPS</li> </ul> 用途 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電算機用</li> <li>●</li> </ul>
発電設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自家発電装置</li> <li>● 太陽光発電装置</li> <li>● 風力発電装置</li> </ul>	電気方式 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 三相3線式</li> <li>● 6 . 6 k V</li> <li>● 2 1 0 V</li> </ul> 機器類 <ul style="list-style-type: none"> <li>形 式</li> <li>● キュービクル形</li> <li>● 簡易形</li> <li>● オープン形</li> </ul> 発電機（ <ul style="list-style-type: none"> <li>k V A以上）</li> <li>原動機</li> <li>● ディーゼル</li> <li>● ガスタービン</li> </ul> 防油堤 <ul style="list-style-type: none"> <li>● コンクリート製</li> <li>● 鉄板製（               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本工事</li> <li>● 別途工事）</li> </ul> </li> </ul> モジュール <ul style="list-style-type: none"> <li>● 結晶シリコン</li> <li>● 薄膜</li> <li>●</li> </ul> 風車 <ul style="list-style-type: none"> <li>● プロペラ形</li> <li>●</li> </ul>
通信情報設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 構内情報通信網設備</li> <li>● 構内交換設備</li> <li>● 情報表示設備</li> <li>● 映像・音響設備</li> <li>● 拡声設備</li> <li>● 誘導支援設備</li> <li>● テレビ共同受信設備</li> <li>● 監視カメラ設備</li> <li>● 駐車場管制設備</li> <li>● 防犯・入退室管理設備</li> <li>● 自動火災報知設備</li> <li>● 自動閉鎖設備</li> <li>● 非常警報設備</li> <li>● ガス漏れ火災警報設備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 機器</li> <li>● 配管のみ</li> <li>● 配管及び配線</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 交換機</li> <li>● 局線中継台</li> <li>● 電話機</li> <li>● ボタン電話装置</li> <li>● 配管のみ</li> <li>● 配管及び配線</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● マルチサイン装置</li> <li>● 出退表示装置</li> <li>● 時刻表示装置</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 増幅器</li> <li>● スピーカー</li> <li>● プロジェクタ</li> <li>● スクリーン</li> <li>● その他（               <ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul> </li> </ul> 用 途 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般放送</li> <li>● 非常放送</li> <li>● 個別放送</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 音声誘導装置</li> <li>● 身体障害者用インターホン装置</li> <li>● トイレ等呼出し装置</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● インターホン</li> <li>● テレビインターホン</li> <li>● ナースコール</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アンテナ（               <ul style="list-style-type: none"> <li>● U H F</li> <li>● B S</li> <li>● C S</li> </ul> </li> <li>● C A T V</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● カメラ</li> <li>● ビデオモニタ</li> <li>● タイムラプスV T R</li> <li>● 配管のみ</li> <li>● 配管及び配線</li> </ul> 車両検知方式 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 光線式</li> <li>● ループコイル式</li> </ul> 機器（ <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本工事</li> <li>※ 別途工事）</li> <li>配管（               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本工事</li> <li>● 別途工事）</li> </ul> </li> <li>配線（               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本工事</li> <li>※ 別途工事）</li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 受信機（               <ul style="list-style-type: none"> <li>● P型</li> <li>● R型）</li> <li>● 副受信機</li> <li>● 中継器</li> <li>● 感知器</li> <li>●</li> </ul> </li> </ul> 運動制御器（ <ul style="list-style-type: none"> <li>● 回線</li> <li>● 単独</li> <li>● 火報受信機と一体</li> <li>● 感知器（               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 共用</li> <li>● 専用）</li> </ul> </li> </ul> 複合装置 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一体形（               <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 一般型</li> <li>● 防雨型）</li> <li>● 単独</li> </ul> </li> </ul> 受信機（ <ul style="list-style-type: none"> <li>● 回線</li> <li>● 単独</li> <li>● 火報受信機と一体</li> <li>● L Pガス用</li> <li>● 都市ガス用）</li> </ul>
中央監視設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 形式</li> <li>● 監視制御対象設備</li> <li>● 伝送方式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 警報盤</li> <li>● 表示操作盤</li> <li>● 監視制御装置</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 動力設備</li> <li>● 受変電設備</li> <li>● 自家発電設備</li> <li>● 防災設備</li> <li>● 照明制御</li> <li>● 給排水設備</li> <li>● 空調設備</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アナログ方式</li> <li>● デジタル方式</li> </ul>
構内配電線路	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 電気方式</li> <li>● 施工方法</li> <li>● 外灯点滅方式</li> </ul>	三相3線式（ <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 6 . 6 k V</li> <li>● 2 0 0 V ）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 単相3線式1 0 0 / 2 0 0 V</li> <li>● 単相2線式（               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 0 0 V</li> <li>● 2 0 0 V ）</li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地中埋設式</li> <li>● 架空線式</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 手動</li> <li>● 自動（               <ul style="list-style-type: none"> <li>● タイマー</li> <li>● 自動点滅器</li> </ul> </li> <li>● 中央監視）</li> </ul>
構内通信線路	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 用途</li> <li>● 施工方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電話用</li> <li>● 時計拡声用</li> <li>● 火災報知用</li> <li>● インターホン用</li> <li>● 情報通信網用</li> <li>● C A T V</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地中埋設式</li> <li>● 架空線式</li> </ul>
テレビ設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対策方策</li> <li>● 責任分界点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 都市形C A T Vへの加入</li> <li>● 共同受信方式（               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 共同アンテナ</li> <li>● 館内用アンテナ用）</li> </ul> </li> <li>● 各戸の保安器一次側</li> <li>●</li> </ul>

## II. 特記仕様

## 1 一般事項

- (1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官房官営館部監修の標準仕様等のうち、**●**印の付いたものによる。
- 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和４年版）（以下、「標準仕様書」という。）
  - 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和４年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）
  - 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和４年版）（以下、「標準図」という。）
- (2) 国土交通省大臣官庁官房官営館部監修の「電気設備工事監理指針」及び「監理計画」という。）を適用する。
- (3) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事（建築４年式）それ以下の標準仕様書等及び監理指針を適用する。

## 2 特 記 事 項

- (1) 項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項のうち選択する事項は ● の付いたものを適用する。
- の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。● と ※ の付いた場合は共に適用する。
- (3) 一般共通事項のうち ( ) 項は、・ 建築 ・ 機械設備 工事特記仕様書による。

項 目	特 記 事 項
① 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。
② 電気保安技術者	<p>工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。</p> <p>なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 2によるものとし、一般用電気工作物に係る工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。</p>
③ 電気工事士	契約電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。
④ 工事安全計画書等	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。
⑤ 発生材の分析及び処理	<p>引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り ( )</p> <p>引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。</p> <p>特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り ● 本工事において調査を行う</p> <p>( ● PCB使用機器 ● アスベスト含有設備資材材 ( ● 記録用遮断機 ● ) )</p> <p>PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。</p> <p>撤去予定機器の微量PCB分析 ※ 無し ◎ 有り (変圧器)</p>

⑥ 機材等	
-------	--

⑦ 機材の品質・性能証明

⑧ 施工图等

⑨ 完成写真等

⑩完成图等

## 11 他工事との取合い

⑫ 工事用電力・水・その他

⑬表示板

14 足場

本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。

また、製造者等が定められている機材については、Ⅲ、機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。

なお、（社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。

使用する機材がⅢ、機材による場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(2)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。

提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを提出する。

区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出
工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※ 1部 ● 部	㊦ 要 ● 不要
完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	㊦ 要 ● 不要

次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。

区 分	名 称	部 数
※ 完成図原因	完成図 ● 原紙 ※ C A Dデータ ※ P D Fデータ 施工図 ● 原紙 ● C A Dデータ ● P D Fデータ	1 部
※ 完成図 2つ折製本	※ 完成図 ※ 完成図（縮小版） ● 施工図	※ 2部 ● 部
※ 完成図書 ※ A 4版市販ファイル ● A 4版黒表紙製本	⊙ 完成図（縮小版） ⊗ 主要機器図 ⊗ 試験成績書	※ 2部 ● 部
※ 保守用説明書 A 4版ファイル	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 部
※ 保証書		1 部
※ 官公署届出書類		1 部
◎ 原因ケース・製本図面の背景紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。		

他 工 事 と の 取 合 い		電 気 設 備	機 械 設 備	建 築
● コンクリート壁、床、梁貫通部	補 強	●	●	※
	スリープ・箱入	※	●	●
● 鉄骨造の開口及び補強		●	●	※
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート（くぎ処理共）		※	●	●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		※	●	●
● 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮 枠	※	●	●
	補 強	●	●	※
● O Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		●	●	※
● 埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上材	切 り 込 み	※	●	●
	補 強	●	●	※
● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		●	●	※
● 電気室、自家発電機室などの基礎及びビット（蓋を含む）		●	●	※
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		●	※	●
● 機器用コントロールスイッチ（空調機、給湯器等）の取付及び配線		●	※	●
● テレビアンテナ	基 礎	●	●	※
	アンカーボルト	※	●	●
● 天井点検口		●	●	※
● 自立型制御盤の基礎		※	●	●
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	※	●	●
	屋 上 設 置	●	●	※

本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。

設ける。（寸法等は下図による。建築工事、機械設備工事等と一括して表示する）

※ 工事表示板

建 築 工 事 中

工事名 ○○○○○○新築工事  
 構造・規模 鉄筋コンクリート造 〇階建  
 延べ面積 ○○○○〇〇㎡  
 工事期間 令和〇〇年〇月から〇〇年〇月まで  
 設計者 ○○○○○〇設計  
 監理者 ○〇環境建築局建築士課  
 ○○○○○〇設計  
 施工者 ○○○○○〇建設  
 連絡先 昼間 ○〇-〇〇〇〇  
 夜間 ○〇-〇〇〇〇  
 現場責任者 ○〇 ○〇

地色 白  
 地色 白  
 地色 白

1,200

900

5YR6.5/11

7YR4.2/11

鳥取県西部総合事務所環境建築局  
 建築士課 〇〇係  
 連絡先 ○〇-〇〇〇〇

記入要領

- 書体は角ゴシックとする。
- お願い表示板は平易な表現及び内容とし、

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり据え置き方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行う。

工 事 名  県立境港総合技術高等学校練習船用陸電設備改修工事	図 名  電気設備工事特記仕様書（１）	縮 尺			管理建築士	査 図	担 当	作 図	作 図	 株式会社 ティビーエム (ティビーエム環境設備設計事務所) 鳥取県米子市目久美町３４番地２ 鳥取県知事登録 第０３－８８８号 一級建築士事務所 管理建築士 一級建築士 第344020号（設備設計一級建築士 第4169号） 赤井 優	年 月	2 0 2 4 . 0 9	頁 02 08 全
											図 番	E — 0 2	



一般共通事項

15 工事用仮設物

16 土工事

電線類

電線本数・管路等

屋外露出配管の仕上げ

露出配管の塗装（付属品含む）

波付硬質合成樹脂管（FEP）

フラッシュプレートの材質

カバープレートの表示

プルボックスの塗装

耐震施工

構内につくことが※できる●できない

埋め戻し土※根切土の中の良質土●山砂の類（）●真砂土（）

建設発生土の処理●構外に搬出し適切に処理※構内敷きならし●構内の指示する場所に堆積

本工事ででは環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。

EM電線類で規格等の定めのないものはハログン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。

通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。

盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。

ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハログン及び鉛を含まない材料とする。

分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。

屋外露出配管（厚鋼電線管）で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ〔めっき付着量 300g/㎡以上〕とする。

塗装する部分●屋上●屋側●屋外●廊下●機械室●居室（）●

波付硬質合成樹脂管（FEP）を使用する場合は不燃又は難燃性とする。

●金属製（ステンレス、新金属も含む）●樹脂製

シール等を貼付し、用途を表示する。

ステンレス製プルボックスの塗装※無（素地仕上）●有（指定色仕上）

設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。

1）機器の据付け及び取付け

設計用水平地震力は、機器重量〔kN〕に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度

	●特定の施設	●一般の施設			
設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機器	2.0	1.5	1.0	
	防振支持の機器		2.0	1.5	
	水槽類	1.5	1.0		
中間階	機器	1.5	1.0	0.6	
	防振支持の機器		1.5	1.0	
	水槽類	1.0	0.6		
地下及び1階	機器	1.0	0.6	0.4	
	防振支持の機器		1.0	0.6	
	水槽類	1.5			

上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階以上：上層4階

中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの

水槽類には燃料小出槽を含む

重要機器（●配電盤●非常用発電装置●交換装置●直流電源装置●UPS装置●火災報知受信機●中央監視制御装置●通信総合盤●）

2）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

3）設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（（一財）日本建築センター）を参考にする。

接地極の材料は次による。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極
●共同接地	E A E D	10Ω以下	E B×3連－2組
●共同接地	E A E C E D	10Ω以下	E B×3連－2組
●A種	E A	10Ω以下	E B×3連－2組
●B種	E B	Ω以下	E B×2連－2組
●C種	E C	10Ω以下	E B×3連－2組
●D種	E D	100Ω以下	E B×1
●高圧避雷器	E L H	10Ω以下	E B×3連－2組
●交換機用	E t	Ω以下	E B×3連－1組
●通信用	E A t	10Ω以下	E B×3連－2組
●通信用	E D t及びE D a	100Ω以下	E B×1
●電話引込口の保安器用	E L t	100Ω以下	E B×1
●測定用	E o	－	E B×1

（連結の場合、EBはD＝14 L＝1500またはW＝40 L＝1200とする）

（E D E D t E D a E L t E oの場合、EBはD＝10 L＝1000またはW＝30 L＝900以上とする）

（その他単独の場合、EBはD＝14 L＝1500またはW＝40 L＝1200とする）

ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したものとする。

外気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。

公共建築改修工事標準仕様書（建築工編）9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。

処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲

※ 県有施設の石綿除去に係る施工業者の登録制度による登録業者を活用するものとする。

※ 官公署その他への手続きは、同仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。

● 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。

分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。

● アスベスト粉じん濃度測定を行う。

（測定時期：測定場所：測定点：）

● 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。

● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。

対象箇所（）

一般共通事項

30 補修など

31 はつり

32 はつり工事における非破壊検査

33 あと施工アンカー

34 室内空気中の化学物質の濃度測定

火災保険等

36 鳥取県公共事業環境配慮指針

37 建築物省エネ法

工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。

既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

探査方法※電磁誘導式●放射線透過検査●

1）施工後確認試験※行わない●行う

試験方法引張試験機による引張試験

確認強度対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上

試験箇所数1施工単位に対し1本以上

対象機器●配電盤●発電装置●直流電源装置●太陽光発電装置

実施する。

工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に参加する。

（保険の加入期限は、工事完成引渡しまで〔概ね工期＋21日〕とする。）

※対象工事

※対象工事

1 照明器具

2 一般照明の照度測定

3 非常用照明の照度測定

4 照明制御の照度測定等

1 LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。

LEDの光源色（※昼白色●温白色●電球色）

測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。）

※設置した各部屋2箇所以上●

明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。

照度測定時期100％点灯時（※夜間●昼間）

調光制御点灯時（※夜間●昼間）

1 機器への接続

2 大地抵抗率の測定

2 外部雷保護設備接地システム

1 変圧器移動車輪

2 デマンド監視装置

3 盤内照明

1 交流無停電電源装置（UPS）

停電補償時間（分）

方式（●常時インバータ給電方式●ラインインタラクティブ方式●常時商用給電方式）

1 自家発電装置

●ディーゼル発電装置

●ガソリンエンジン発電装置

●ガスタービン発電装置

●熱供給発電装置

●燃料電池発電装置

運転時間（h）

系統連系（●高圧連系●高圧受電低圧みなし連系●低圧連系●無）

出力（kW）

配電盤外装（●有●無）

保安装置（重故障項目特記●有●無）

外部用端子（●要●不要）

減圧水槽及び初期注水槽の材質（●銅板製●ステンレス銅板製）

オイルタンク（●地下●屋内）

据付：機械設備工事標準図（●施工30、32（タンク室無し）●施工31、33（タンク室有り））

燃料小出槽（注）：返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過形接点とする。

材質（●銅板製●ステンレス製）

燃料油等（●灯油●軽油●重油●燃料ガス（））

排気系統配管断熱材の厚さ（mm）

ばい煙測定口（●設ける●設けない）

排気ガスに含まれる窒素酸化物（以下）

運転音（dB以下）

系統連系（●高圧連系●高圧受電低圧みなし連系●低圧連系●無）

公称最大出力（kW）

耐風速（m/s）

パワーコンディショナ（相線式V）

定格容量（kW）

自立運転機能（●有●無）

表示装置（●有●無）

方式（※液晶●）

系統連系（●高圧連系●高圧受電低圧みなし連系●低圧連系●無）

定格出力（kW）

1 交換装置

局線応答方式（●局線中継台方式●分散中継台方式●ダイヤルイン方式●ダイレクトインダイヤル方式●ダイレクトインライン方式）

停電補償時間（分）

※本工事●別途工事

※モジュラージャック●電話用プレート

内線／／回線局線／／回線（現用／実装／容量）

●一般電話機台●多機能電話機台●ファクシミリ台

●デジタルコードレス電話機台●IP電話機台

卓上電話機1台につき次のものを見込む。

●ボタン電話機（●EM-BTIEE 0.4～2P●）（※15m●）

●内線電話機（●EM-TIEF 0.65～2C●TIVF 0.65～2C）（※15m●）

●多機能電話機（●EM-BTIEE 0.4～2P●）（※15m●）

●IP電話機（●EM-UTP 0.5～4P●）（※15m●）

1 マルチサイン装置

2 出退表示装置

3 時刻表示装置

1 プロジェクタ

イメージスキャナ（●設ける●設けない）

制御装置（●壁掛形●埋込形●据置形）

呼出機能（●有●無）

方式（●発光ダイオード●液晶●）

親時計（●壁掛形回線●ラック形回線）

太陽電池式屋外時計（点灯時間h点灯保証日数日）

1 出力（●I形●II形●III形）

解像度（●A形●B形●C形）

コントラスト比（●X形●Y形）

10 拡声設備

11 誘導支援

12 火災報知設備

13 構内配電線路

14 構内通信線路

15 テレビレ電波受信障害調査

16 その他

1 増幅器

形式（●卓上形●ラック形）

定格出力（W）

性能（●Hi形●Lo形）

●増幅器の入出力配線と外部配管（壁ボックス等）の接続はコネクターによる。

1 音声誘導装置

検出方式（●磁気方式●無線方式●画像認識方式）

1 自動火災報知設備

2 自動閉鎖設備

3 ガス漏れ火災警報設備

受信機（●型級回線〔蓄積型〕●複合形●単独形）

●防火戸用（※ラッチ式●電磁式）

●防煙ダンパー用（※電動復帰●手動復帰）

●防火シャッター用（※別途工事●本工事）

検知器（●天井取付形●壁取付形）

1 施工方法

2 地中箱

3 高圧負荷開閉器

4 高圧ケーブルの端末部

5 高圧ケーブルの屋外端末処理

6 標識シート

7 照明用ポール

埋設深さ※GL－300以上、舗装のある場合は路盤下－300以上とする。

●GL－600以上（●車路●高圧配線●幹線●）

蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。

○閉鎖形（●軽耐塩形○重耐塩形）

○地絡経電器付（※方向性●無方向性）

○避雷器内蔵

※別置制御装置までの制御ケーブルを付属する。

高圧ケーブルの両端部にシースの縮み対策（熱伸縮テープによるシースずれ止め対策等）を行う。

●一般形○耐塩形

※高圧●低圧

照明用ポールには配線用遮断器（トリップ機能なし）又はカットアウトスイッチ（素通しヒューズ）を内蔵する。ただし、ガーデンライトは除く。

1 施工方法

2 地中箱

3 標識シート

1 調査仕様

2 テレビ電波受信障害調査時期

3 受信する受信波及び地点数

4 報告書提出部数

図面に記載されていない事項は、すべて（一社）日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建造物によるテレビ受信障害調査要領（地上デジタル放送）」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けるものとする。

※事前●中間※事後

中継局波：地点

中継局波：地点

※事前3部●中間部●事後3部

1 機器取付高

機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。

名称	測点	取付高(mm)	
電力共通	取引用計器	地上～窓中心 1,800～2,000	
	引込開閉器	地上～中心 1,800～2,200	
電	分電盤・OA盤・実験盤	床上～中心 1,500（上端1,900以下）	
	スイッチ	” 1,300	
	”（多機能トイレ）	” 1,100	
	コンセント（一般）	” 300	
	”（和室）	” 150	
	”（台上）	台上～中心 150	
	”（土間）	床上～中心 800～1,300	
	”（車椅子用）	” 900	
灯	ブラケット（一般）	” 2,100～2,300	
	”（踊場）	” 2,000～2,500	
	”（鏡上）	鏡上端～中心 150	
動力	壁掛形制御盤	床上～中心 1,500（上端1,900以下）	
	手元開閉器	” 1,500	
構内交換	操作スイッチ	” 1,300	
	端子盤	床上～下端 300	
	保安器箱	天井下～上端 200	
	壁付アウトレット	床上～中心 300	
電気時計	”（和室）	” 150	
	壁掛形親時計	床上～中心 1,500（上限1,900以下）	
	子時計	” 天井高×0.9	
拡声	壁掛形スピーカ	床上～中心 天井高×0.9	
	壁付アッテネータ	” 1,300	

② 工事のため送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めるものとする。

Ⅲ. 機材

工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による。

ただし、盤類は上記によるほか以下の製造業者とする。

㈱水井電機工業所

㈱富士オートメーション

㈱英産業㈱

㈱増岡電機製作所

㈱平木電機産業

㈱富士オートメーション

㈱増岡電機製作所

工事名

図名

縮尺

管理建築士

査図

担当

作図

作図

株式会社 ティビィエム

鳥取県米子市目久美町34番地2

鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所

管理建築士 一級建築士 第344020号（設備設計一級建築士 第4169号） 赤井 優

年月 2024.09

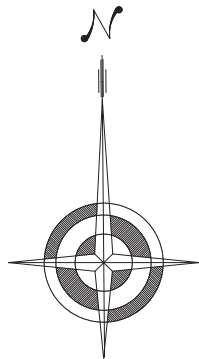
図番 E-03

頁 03

08 全

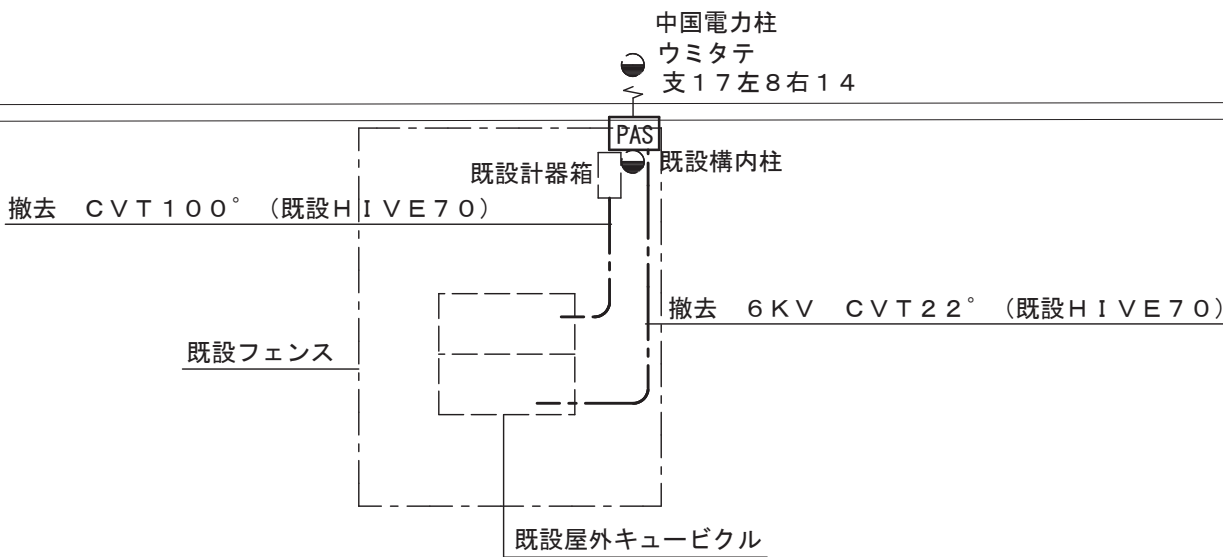






日本海

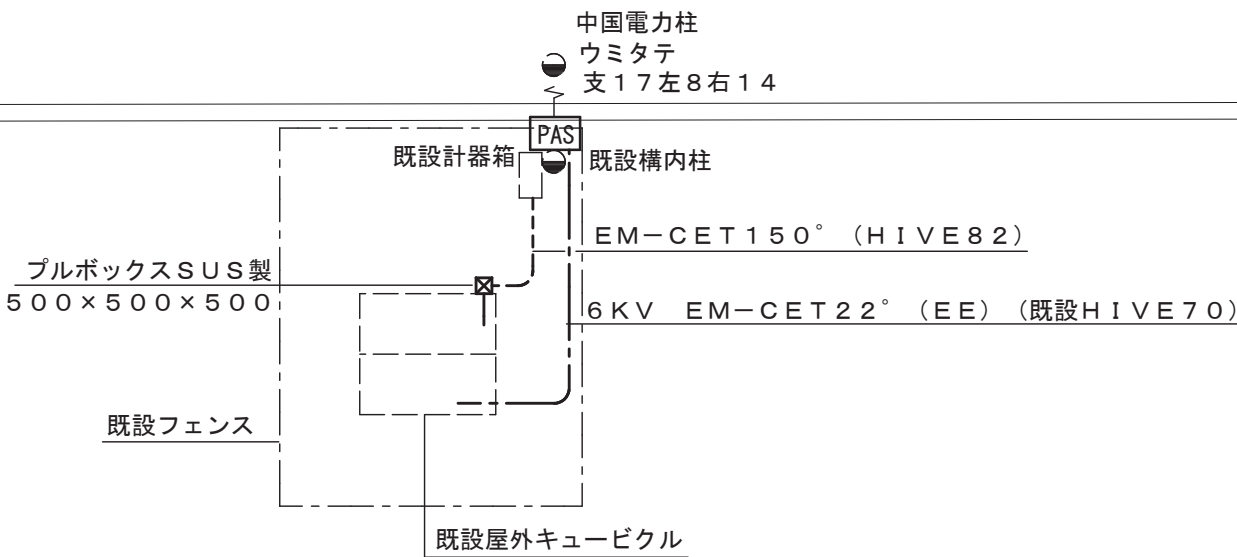
境港外港竹内埠頭



構内配電線路設備 平面図（撤去） S=1/100

日本海

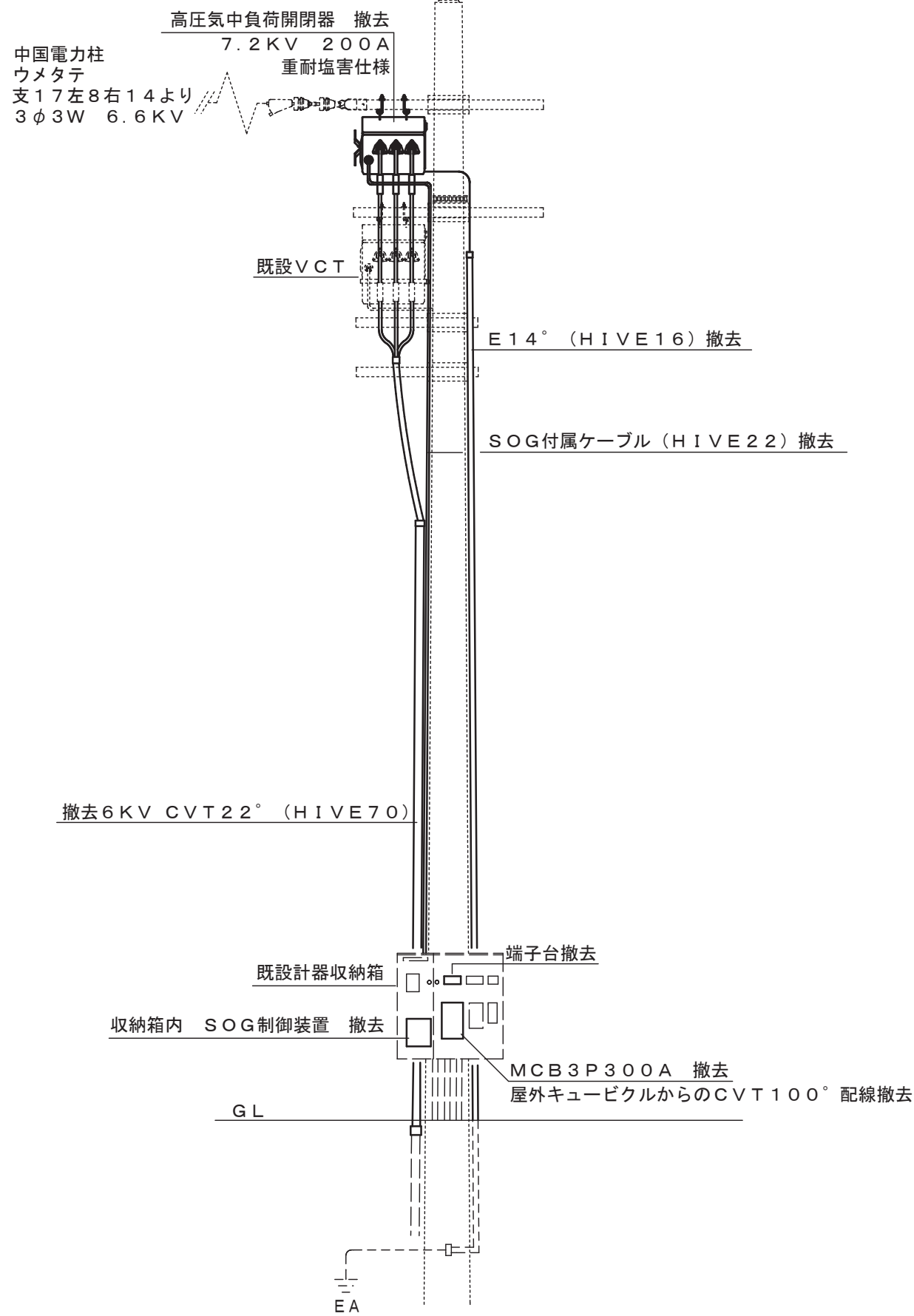
境港外港竹内埠頭



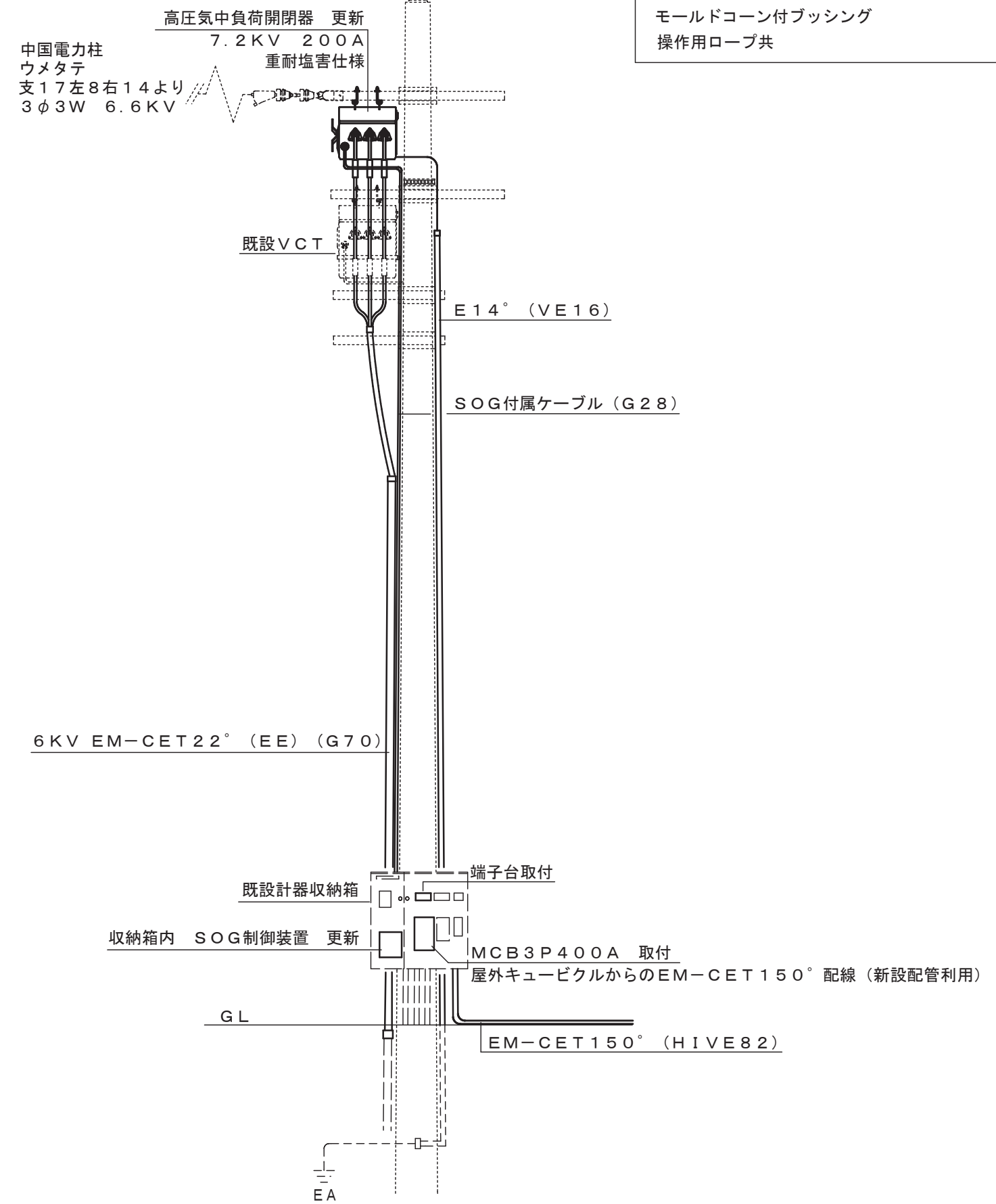
構内配電線路設備 平面図（改修後） S=1/100

鳥取県  
令和6年度  
J2400161  
西部環境建築局

工 事 名 県立境港総合技術高等学校練習船用陸電設備改修工事	図 名 構内配電線路設備 平面図（撤去 改修後）	縮 尺			管理建築士	査 図	担 当	作 図	作 図	 株式会社 ティビーエム (ティビーエム環境設備設計事務所) 鳥取県米子市目久美町34番地2 鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所 管理建築士 一級建築士 第344020号 (設備設計一級建築士 第4169号) 赤井 優	年 月 2024. 09	図 番 E — 05	頁 05 08 全
		1/100											



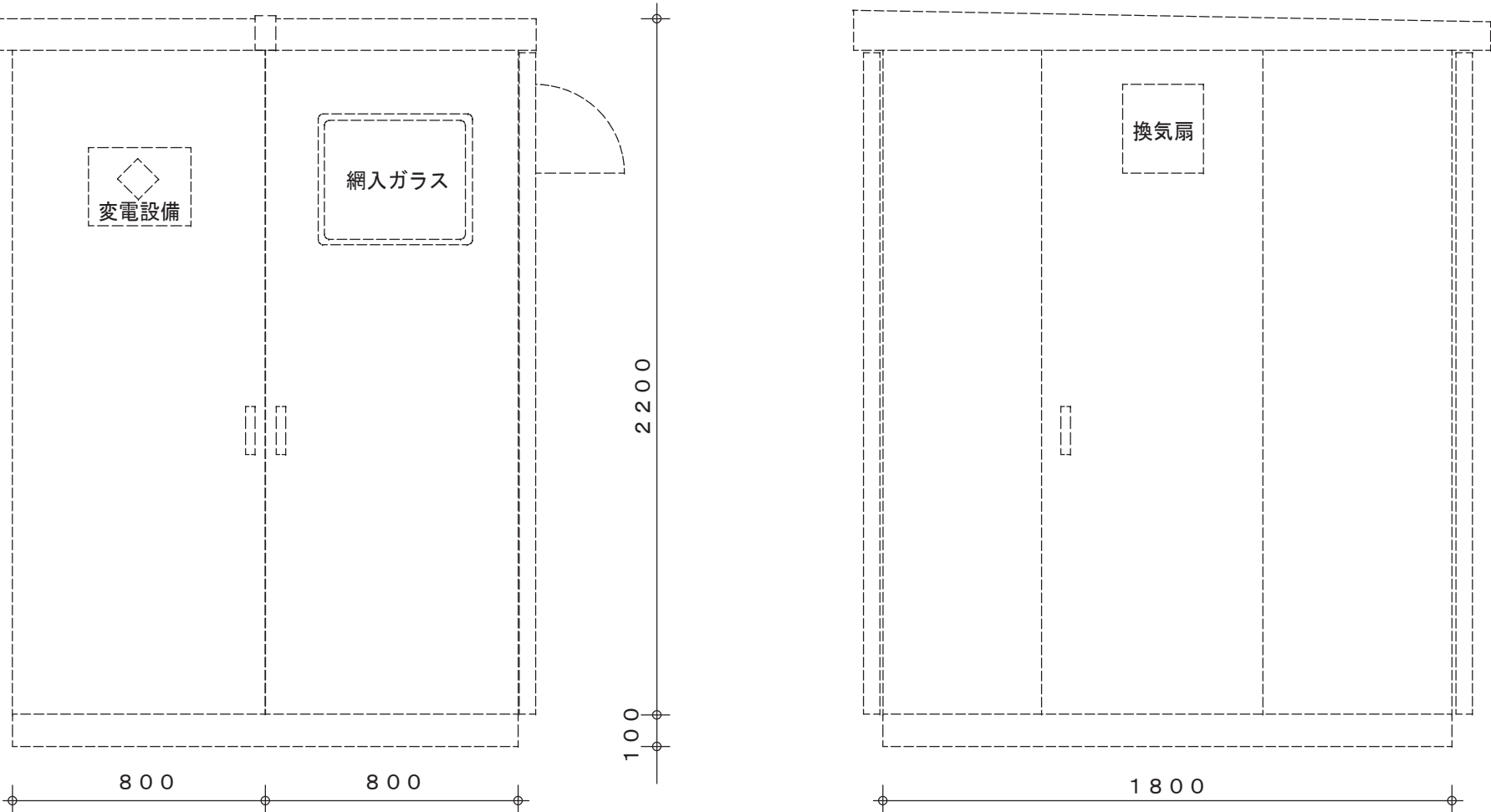
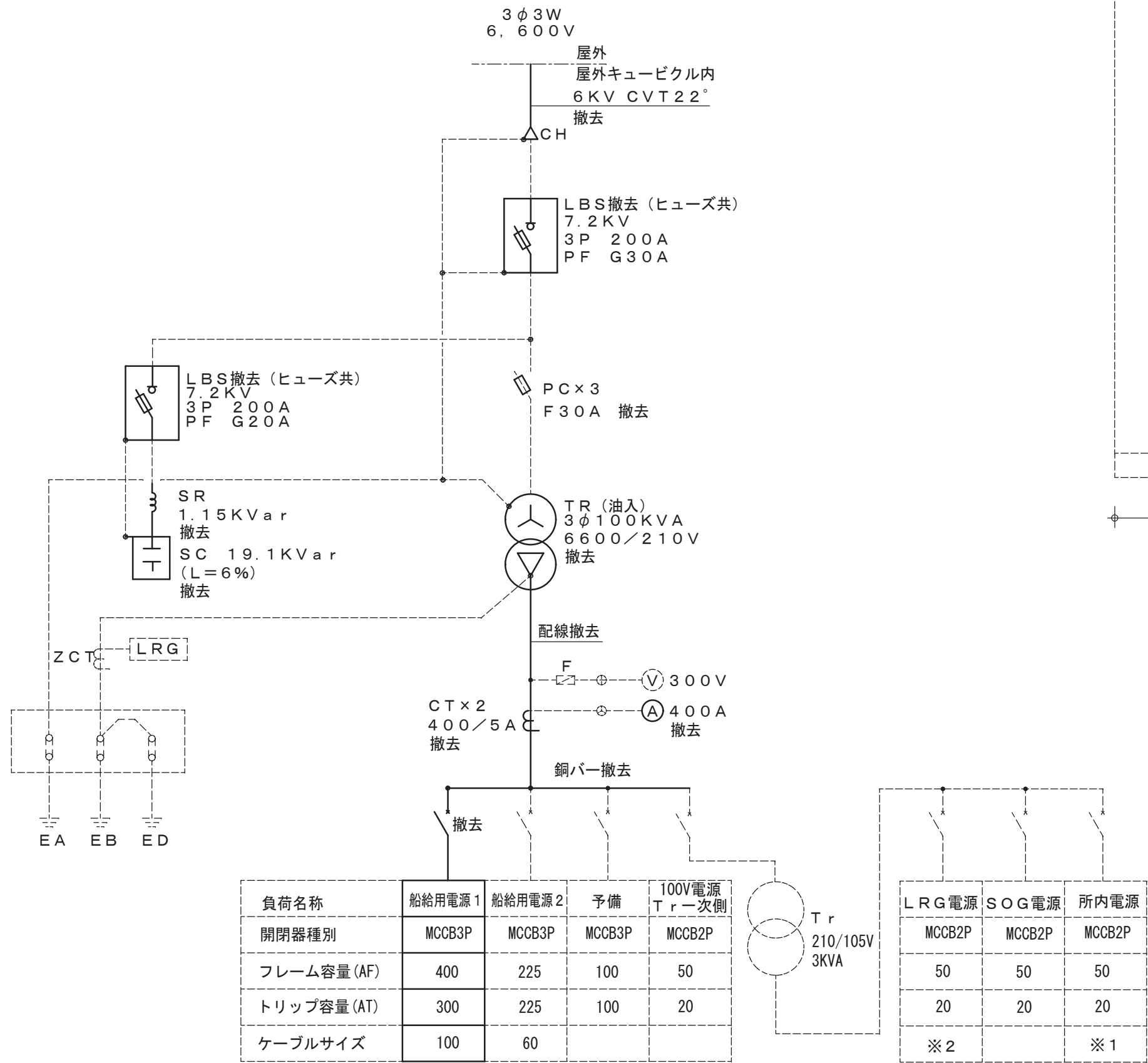
装柱図 (撤去) 図中、太線で表記される機器及び配管・配線を撤去する。



装柱図 (改修後) 1. 図中、太線で表記される機器及び配管・配線を新設を行う。  
2. 高圧気中開閉器の更新は高所作業車にて行う。

改修後 高圧気中負荷開閉器 仕様  
7.2KV 12.5KA 200A  
地絡方向継電装置付  
LA・VT内蔵 SUS製 (重耐塩害仕様)  
モールドコーン付ブッシング  
操作用ローブ共





屋外キュービクル 姿図

- 撤去 内容 (図中太線部)
1. 高圧ケーブル6KV C V T 2 2 ° 撤去
  2. LBS撤去 (ヒューズ共、定格電流は図示のとおり)
  3. PC ヒューズF30A撤去
  4. 動力変圧器100KVA撤去
  5. 高圧リアクトル1.15KV ar撤去
  6. 高圧コンデンサ19.1KV ar撤去
  7. ブレーカー1個撤去
  8. 変圧器2次側の配線、銅バー撤去
  9. CT、電流計の撤去

特記事項

絶縁油を使用する撤去機器について、PCB含有分析を行い、  
不含の場合は適正に処分のこと。

屋外キュービクル 改造 単線結線図 (改修前)

鳥取県  
令和7年度  
西部環境建築局



鳥 取 県

工事名称 県立境港総合技術高等学校練習船用陸電設備改修工事  
図 名 屋外キュービクル 改造 単線結線図 姿図 (改修前)

SCALE NONE  
A3縮小率: 70.7%

DATE R7・11

西部総合事務所環境建築局 建築住宅課

課 長	参 事	課長補佐	係 長	合 議	担 当	年度	所 課 コー ド	施設コード	図 面 N o .
						R7			E-08改